

青森で生きる未来人財育成事業 ボランティアチーム養成講座【第1回】

6月11日(日)14:00~15:00 県総合社会教育センターより配信 受講者66名

1 趣旨

青少年の自己肯定感や主体性を高めることを目的として、高校生を地域で行われるボランティア活動に派遣し、異年齢交流などの多様な体験活動に参加させる。

2 内容 【講義】「ボランティア活動」

日本赤十字社青森県支部 主事 岩井 雄太郎 氏



3 講義要旨

- ボランティア活動とは、自発的な意志に基づき、他人や社会に貢献する行為です。活動の性格として、「自主性（主体性）や社会性（連帯性）、無償性（無給性）等」があげられます。
- 日本赤十字社の活動は多種多様ですが、大きく分けて9つの活動があります。それは、国内災害救護、国際活動、医療事業、看護師養成、青少年赤十字、講習普及、血液事業、赤十字ボランティア、社会福祉です。活動に関わっている全ての方々を「赤十字の協力者」と呼んでいます。
- ボランティアを实践するうえで、「相手のニーズに**気づく**」「ニーズの達成のために必要なことを**考える**」「考えた計画を**実行する**」の3つのサイクルを大切にすることが必要です。

4 アンケート結果から

受講結果に満足	98%	どちらかと言えば満足	2%
どちらかと言えば不満	0%	不満	0%

(受講者の感想)

- ボランティア活動は自主性（主体性）、社会性（連帯性）、無償性（無給性）に基づいていますが、自己満足になっていないか、それは本当に必要な活動なのか、気持ちの押しつけになっていないかに気をつけることが大切だと思った。
- ボランティアについて改めて理解することができたとし、日本赤十字社の取り組みを知ることによって、他者のために活動することの大切さを学べた。
- 今後ボランティアをするにあたり、5W1Hを意識して相手のニーズの核心をつくような活動をした。
- 今までボランティアはすべて人のためになり、される側はみんな喜んでくれるものだと思っていた。でも今回の講義をきいて、ボランティアは相手が求めていることをしなければいけないということに気づくことができた。
- 日本赤十字の活動内容やその成り立ちについて知ることができたのが良かった。また、赤十字の活動は献血や災害支援をしているということしか知らなかったもので、他にも様々な活動をしているということがわかった。

第1回の講座では、ボランティアとは何か、日本赤十字社とボランティアの関係、ボランティア活動をする際の注意点など、ボランティア活動をするために必要なことや実践する上で大切にすべき考え方などを学ぶことができました。また、Zoomのチャット機能を活用し、自分や周囲の意見を共有しながらの参加型であったため、受講者の思考も深まり、とても有意義な講座となりました。